

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(10歳代, 20歳代, 共に女性)あり, 型別はO157(VT2)です(第36週報告分含む)。本年の累積報告数は19例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- デング熱の報告が1例(女性, 10歳代)あります(第36週報告分)。推定感染地域は国外(マレーシア)で, 推定感染経路は蚊媒介です。これまでに京都市内で報告されているデング熱は, 全て海外の流行地で感染し, 帰国後に発症する輸入症例です。
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(男性, 30歳代)あります。本年の累積報告数は17例となり, 過去5年で最も多かった平成23年を上回るペースで報告されています。
- 梅毒の報告が1例(30歳代男性)あります。本年の累積報告数は21例となり, すでに, 過去10年間で最多となった平成26年(11例)の二倍近くにのぼっています。
- 今回は, 第38・39週合併号として, 平成27年10月5日(月)に発行予定です。

◆ 今週のトピックス: <結核>

- 9月24日～30日は結核予防週間です。京都市における発生動向について御紹介します。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例 (第36週追加分含む)【1月以降の累積報告数 19例】
- 四類: デング熱 1例 (第36週追加分)【1月以降の累積報告数 9例】
- 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 17例】
- 五類: 梅毒(早期顕症梅毒Ⅱ期) 1例【1月以降の累積報告数 21例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.63	149
	② 手足口病	0.98	40
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.78	32
	④ ヘルパンギーナ	0.51	21
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.46	19
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

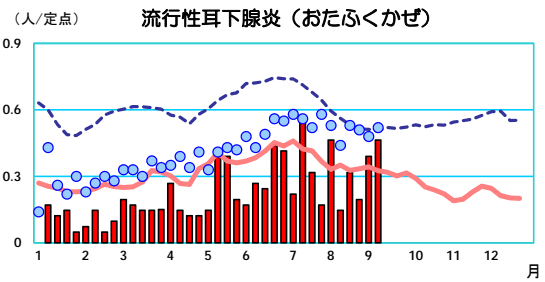
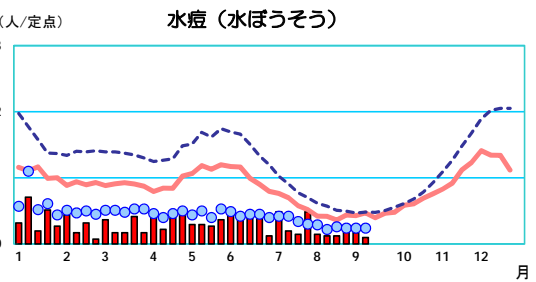
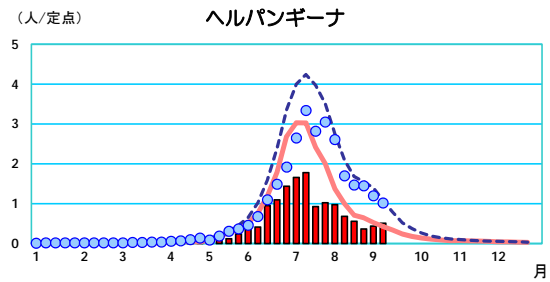
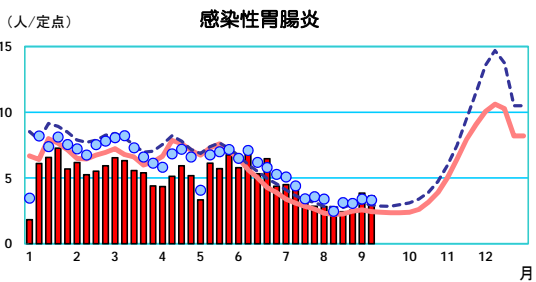
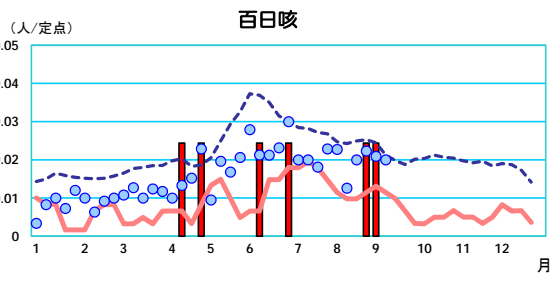
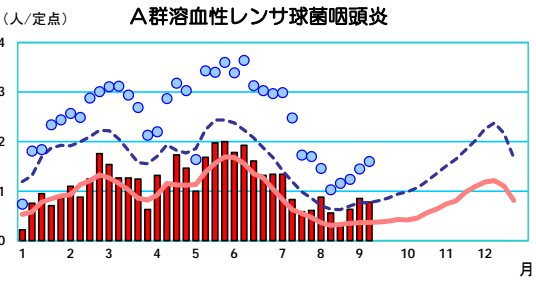
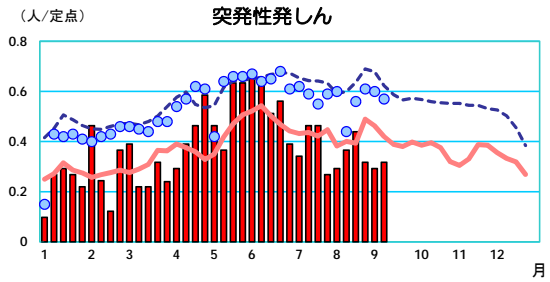
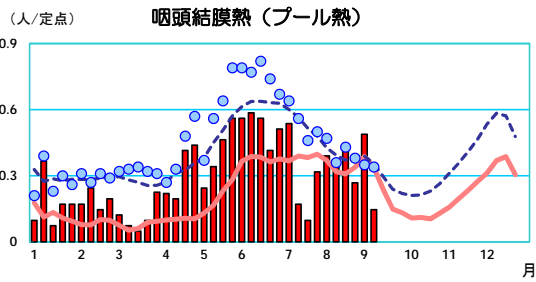
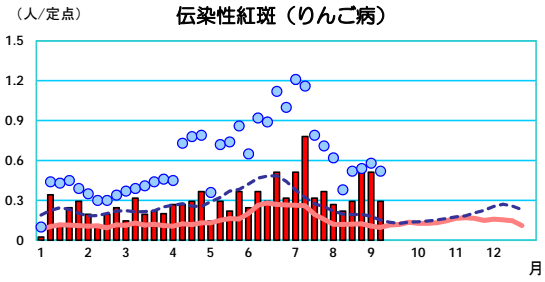
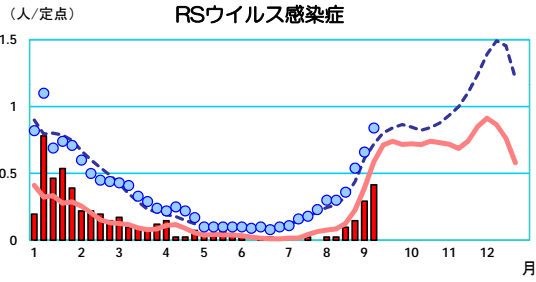
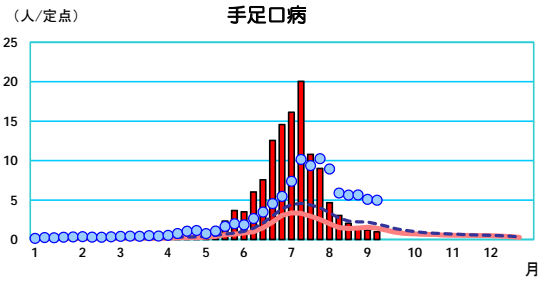
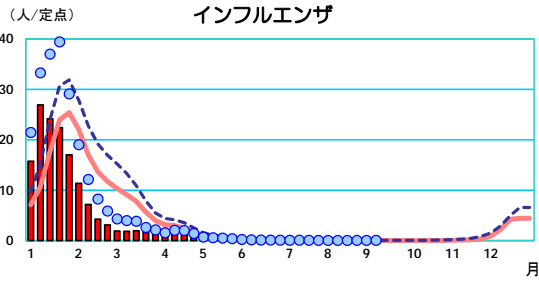
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <結核>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成27年9月17日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

ヘルパンギーナ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第37週(9月7日～9月13日)トピックス: <結核>

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。これに併せて、京都市では、結核予防に関する普及活動に取り組んでいます。ここでは、平成26年の結核の状況についてまとめました。

本市の平成26年結核新登録患者は321人で、平成25年(286人)と比べ35人増加しています。罹患率(人口10万対)は21.8で、平成25年の19.4から2.4ポイント増加し、依然、全国の15.4と比較して、高値を示しています。また、平成26年肺結核喀痰塗抹陽性罹患率は8.5と平成25年の8.7ポイントから減少しましたが、全国の6.0と比較して高値となっています(表1)。

新登録患者数を年齢階級別にみると、60歳以上の患者が占める割合が73.5%で、平成25年(77.3%)に比べると減少したものの、60歳以上の患者が高い割合を占めています。(図1)。

また、新登録患者のほとんど(85.3%)が、医療機関受診で発見されています(図2)、発見時「症状がない者」及び「そののみ(呼吸器系症状なし)」を合わせると、4割強を占めています(図3)。結核特有の症状がなく他疾患との鑑別が難しいことから、早期発見のため、結核を念頭においた定期健診と結核の鑑別診断が重要となります。

○京都市情報館ホームページ

「結核予防週間における京都市の取組について」

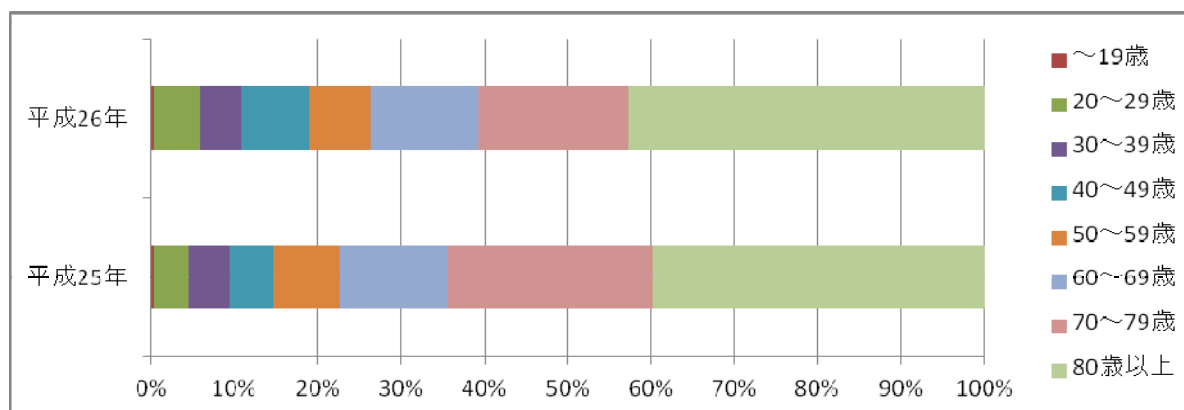
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000172262.html>

(表1)京都市及び全国の結核新登録患者数

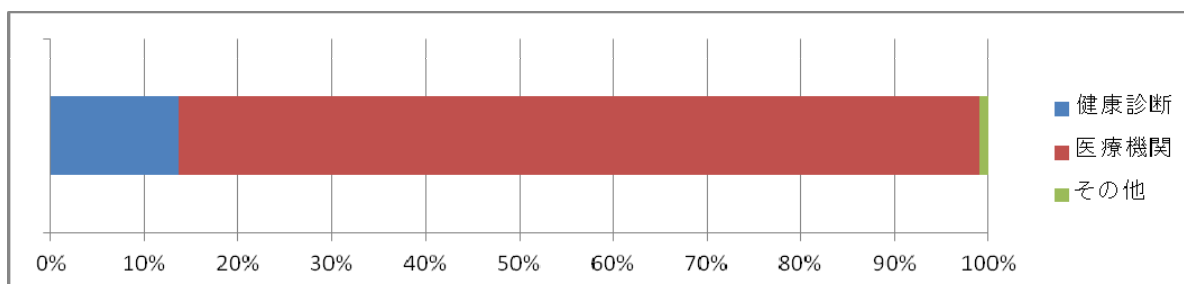
区 分	平成25年	平成26年	全国(平成26年)
新登録患者数(人)	286	321	19,615
罹患率(人口10万対)	19.4	21.8	15.4
肺結核喀痰塗抹陽性患者数(人)	128	125	7,651
新登録患者に占める割合(%)	44.8	38.9	39.0
罹患率(人口10万対)	8.7	8.5	6.0

(*)全国の数値は平成27年5月20日現在の厚生労働省年報集計結果による

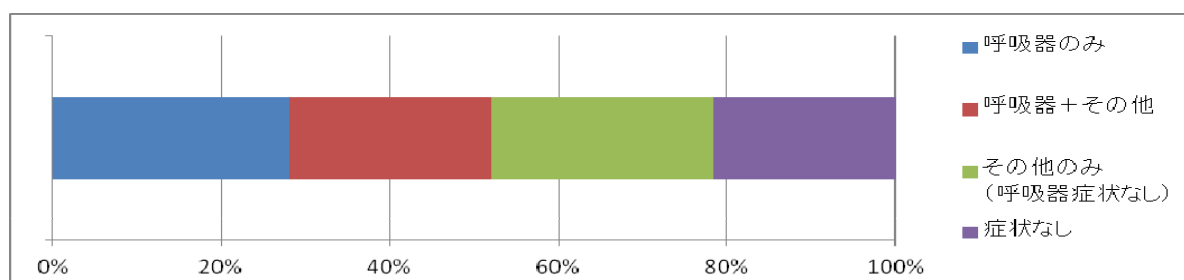
(図1)結核新登録患者の年齢階級別の比率



(図2)患者の発見方法(平成26年)



(図3)発見時の症状(平成26年)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第37週

疾病,行政区別報告数

平成27年9月7日～平成27年9月13日

データ入手日:平成27年9月17日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	7	-	1	4	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	3	-	4	40	1	5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	3	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	17	-	2	1	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	2	1	11	5	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	10	-	1	2	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	2	2	14	2	14	2	3	-	7	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	14	19	1	8	3	1	-	2	10	-	1	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	3	-	35	-	6	1	1	-	1	7	-	2	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	17	6	32	149	4	40	12	13	-	21	19	-	6	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	0.50	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	0.50	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	2.33	-	0.33	1.33	-	0.67	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.75	-	1.00	10.00	0.25	1.25	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	1.00	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	0.33	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	8.50	-	1.00	0.50	0.50	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	0.50	0.25	2.75	1.25	-	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	3.33	-	0.33	0.67	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.40	0.40	2.80	0.40	2.80	0.40	0.60	-	1.40	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	2.00	2.71	0.14	1.14	0.43	0.14	-	0.29	1.43	-	0.50	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.75	-	8.75	-	1.50	0.25	0.25	-	0.25	1.75	-	2.00	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.41	0.15	0.78	3.63	0.10	0.98	0.29	0.32	-	0.51	0.46	-	0.60	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第37週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年9月7日～平成27年9月13日

データ入手日:平成27年9月17日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	17	2	6	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	6	-	-	1	-	-	1	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	32	-	1	6	2	4	4	4	2	1	1	2	2	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	149	3	13	20	18	11	10	12	14	8	6	6	11	6	11	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	4	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	40	-	4	9	13	3	4	3	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	12	-	-	-	-	3	3	2	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	13	1	8	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	21	-	3	7	8	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	19	-	-	2	2	1	2	3	1	2	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	6	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.41	0.05	0.15	0.20	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.15	-	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.78	-	0.02	0.15	0.05	0.10	0.10	0.10	0.05	0.02	0.02	0.05	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	3.63	0.07	0.32	0.49	0.44	0.27	0.24	0.29	0.34	0.20	0.15	0.15	0.27	0.15	0.27	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.10	-	-	-	-	-	0.02	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.98	-	0.10	0.22	0.32	0.07	0.10	0.07	-	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.29	-	-	-	-	0.07	0.07	0.05	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.32	0.02	0.20	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.51	-	0.07	0.17	0.20	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.46	-	-	0.05	0.05	0.02	0.05	0.07	0.02	0.05	0.05	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.60	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第37週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年9月17日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	3	-	-
RSウイルス感染症	1	1	4	6	12	17
咽頭結膜熱	16	14	18	11	20	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	23	14	26	35	32
感染性胃腸炎	116	114	100	105	158	149
水痘	6	5	5	11	7	4
手足口病	191	125	84	66	49	40
伝染性紅斑	11	9	12	22	21	12
突発性発しん	12	15	18	13	12	13
百日咳	-	-	-	1	1	-
ヘルパンギーナ	40	28	23	15	18	21
流行性耳下腺炎	19	6	13	8	16	19
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	4	4	4	9	6
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	449	344	295	291	358	319

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	0.04	-	-
RSウイルス感染症	0.02	0.02	0.10	0.15	0.29	0.41
咽頭結膜熱	0.39	0.34	0.44	0.27	0.49	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0.56	0.34	0.63	0.85	0.78
感染性胃腸炎	2.83	2.78	2.44	2.56	3.85	3.63
水痘	0.15	0.12	0.12	0.27	0.17	0.10
手足口病	4.66	3.05	2.05	1.61	1.20	0.98
伝染性紅斑	0.27	0.22	0.29	0.54	0.51	0.29
突発性発しん	0.29	0.37	0.44	0.32	0.29	0.32
百日咳	-	-	-	0.02	0.02	-
ヘルパンギーナ	0.98	0.68	0.56	0.37	0.44	0.51
流行性耳下腺炎	0.46	0.15	0.32	0.20	0.39	0.46
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.40	0.40	0.40	0.90	0.60
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	11.03	8.69	7.50	7.37	9.41	8.23

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。